



株式会社バルカー

証券コード：7995

株主の皆さまへ

2019年3月期(第119期)

バルカーレポート

2018年4月1日 ▶▶ 2019年3月31日

VALUE & QUALITY

THE VALQUA WAY

基本理念

VALUE
&
QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

VALUE & QUALITY

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2019年3月期（第119期）バルカーレポートをお届けします。

当期の日本経済は、前半においては企業の生産活動と個人消費がともに緩やかな回復を続け、戦後最長とも言われる景気拡大の基調を維持しました。

しかし、後半に入ると世界経済の先行きに不透明な要素が増した影響を受け、ここ数年の企業業績拡大を支えてきた半導体や産業機械などの生産に陰りが見えて、個人消費の一部にも停滞感が漂う状況になりました。

このような事業環境の変化に対して当社グループは、新たな顧客ニーズの掘り起こしを図るとともにあらゆる機能における徹底的な効率化の実施などにより、収益の拡大と維持に努めました。

また、将来を見据えては、第8次中期経営計画“New Valqua Stage Eight (NV・S8)”を開始し、その基本方針である「健全で持続的な成長の実現」に向けて、H&S企業化をはじめとする事業戦略を速やかに推進するとともに、企業基盤の整備を着実に実行しました。

これからもバルカーは、企業理念“THE VALQUA WAY”のもと、外部環境の変化にひるむことなくチャレンジに次ぐチャレンジにより市場を切り拓き、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

2019年6月



シール製品事業

売上高 **33,593** 百万円

売上高
構成比 **65.6** %



事業概況

シール製品事業につきましては、機器市場とプラント市場に向けた売上がそれぞれ増加するとともに、先端産業市場に向けた販売も高水準を維持し、売上高は335億9千3百万円（前年同期比3.6%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加によりセグメント利益は44億4千7百万円（同6.2%減）となりました。

今後の展開

バルカーグループのコア事業として、グローバルな成長市場に向けての展開を加速するとともに、選択と集中を推進することにより、収益力の強化を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **14,313** 百万円

売上高
構成比 **27.9** %

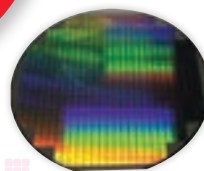


連結売上高
51,243
百万円

その他事業

売上高 **3,336** 百万円

売上高
構成比 **6.5** %



事業概況

機能樹脂製品事業につきましては、先端産業市場向け売上の拡大に加え、機器市場への販売も堅調に推移し、売上高は143億1千3百万円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益は7億7千7百万円（同57.7%増）となりました。

今後の展開

サプライチェーンの整備や新たな技術の獲得に向けて、M&Aも含めた成長投資を積極的に行い、業容の拡大と収益性の向上を図ってまいります。

事業概況

その他事業につきましては、シリコンウエハーリサイクル事業の受託量増加などにより、売上高は33億3千6百万円（前年同期比22.7%増）、セグメント利益は3億8千4百万円（同173.7%増）となりました。

今後の展開

シリコンウエハーリサイクル事業における収益力の強化に加え、H&S（ハード&シールエンジニアリング・サービス）事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期 自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	当期 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日
売上高	47,592	51,243
売上原価	30,076	32,149
売上総利益	17,515	19,093
販売費及び一般管理費	12,140	13,484
営業利益	5,374	5,609
経常利益	5,466	5,791
税金等調整前当期純利益	5,417	5,733
当期純利益	3,896	4,182
親会社株主に帰属する当期純利益	3,833	4,087

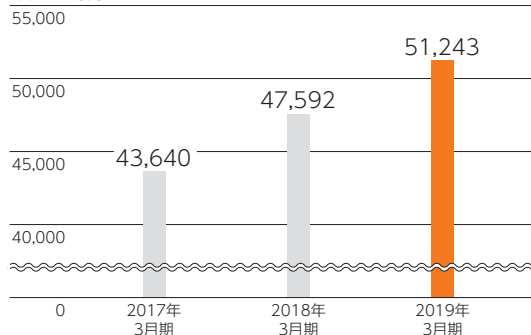
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2018年3月31日	当期末 2019年3月31日
資産の部		
流動資産	26,943	28,166
固定資産	23,643	21,363
繰延資産	14	5
資産合計	50,600	49,535
負債の部		
流動負債	11,595	13,261
固定負債	4,413	1,895
負債合計	16,008	15,157
純資産の部		
株主資本	29,643	31,610
その他の包括利益累計額	3,394	1,205
非支配株主持分	1,554	1,562
純資産合計	34,592	34,378
負債純資産合計	50,600	49,535

売上高

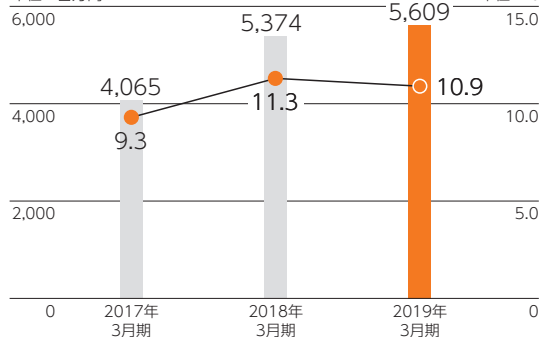
単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2017年3月期	*6.0 円	45.0 円	—
2017年3月期期末配当金の内訳 普通配当30.0円 創業90周年記念配当15.0円			
2018年3月期	40.0 円	45.0 円	85.0 円
2019年3月期	45.0 円	50.0 円	95.0 円

*2016年10月1日付で株式併合

“オール・バルカー”で市場を切り拓く H&S事業の加速

バルカーでは、新たな企業価値の創造に向けて、そしてシールのパイオニアとして社会的な要請に応えるため、H&S事業（ハード&シール・エンジニアリング・サービス）への取り組みを推進しています。

H&Sとは、従来のモノづくりの枠にとらわれず、バルカーの持つあらゆる資産“モノ・コト・ヒト”を駆使してお客さまの課題をともに解決していく、グループの総力を問われる事業です。

当期から開始した中期経営計画“NV・S8”では、その大方針のなかに“「H&S」を軸とした”という文言を含め、業容の拡大への決意を強くし、次の、そしてさらにその次のチャレンジに向けて社員一人ひとりの意識改革を図っています。

既に一部で具体化したH&S、これからの展開にご期待ください。



機器の使用感など徹底したユーザ目線のテストを繰り返すシール・エンジニアリング・サービスの開発



海運業界の教育プログラムでは初となる国際認証を取得

H&S事業の主な取り組み

プラントの安全操業への貢献

国内の化学プラントでは、高効率化を図る一方で設備の老朽化と人材不足に伴う保全施工技量低下という課題に直面しており、関係省庁のリードのもと高度な保安力確保に向けた取り組みが本格化しています。

バルカーはこれまで培ってきた技術にIoTの要素を加えたモニタリングシステム、他社とのコラボレーションによる防錆管理サービス・特殊洗浄サービスを開発し、プラント操業にかかる課題の解決に貢献しています。

トレーニングの新市場展開

さまざまな国籍の船員による混乗運航が一般化している海運業界ですが、近年衝突や座礁などの海難事故や船用機器の取り扱いミスによるトラブルを抑止すべく、国際条約に基づく船員技能の向上とi-Shipping（スマート管理）導入への動きが加速しています。

これに合わせてバルカーでは、船舶で使用されるシールに関するトレーニングプログラムを開発。日本海事協会（Class-NK）の認証を取得し、国際海事条約にも準拠したカリキュラムは、海運企業の船員教育講座として採用されるなど高い評価を得ています。

事業を通じた地球環境保護への貢献

シリコンウエハーリサイクル事業の体制整備

“産業のコメ”と言われて久しい半導体。それに関連する技術は常に時代の最先端を走り、いまこの瞬間も次世代に向けた開発が進んでいます。

半導体は製造工程において高い技術水準が要求され、新製品の出荷や生産ラインの立ち上げをする際は、テスト生産が繰り返し行われます。

そこで欠かせないのが、シリコンウエハーを再利用したリサイクルウエハーです。

リサイクルウエハーは、テスト生産で使用したシリコンウエハーの表面を新品同様に研磨加工することにより再利用を可能とした製品で、半導体生産にかかわるコストの低減はもちろん、シリコンウエハーの素材を製造する際に使用される膨大な電力の削減にも寄与しています。

バルカーグループでこのリサイクルウエハーを扱う事業の中核を担っているのが、バルカー・エフエフティ（VFFT）です。

VFFTの高い技術水準と徹底した品質管理によりリサイクルウエハーは、半導体メーカーからの厚い信頼を得て、お客さまは東アジアを中心にグローバル

に広がっています。

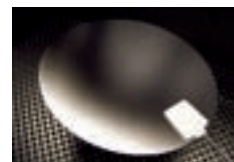
景況の振れ幅が大きい半導体業界のなかにあって、リサイクルウエハーへの需要は比較的安定しています。しかし、能力を拡大するばかりでは将来の安定的な収益の確保が難しいという点は、変わりません。

バルカーではVFFTの量的・質的な能力向上により最先端ニーズへの対応力を高めるとともに、提携企業への技術指導と既存品の加工委託を進めることにより、品質水準の向上と受託能力の柔軟なコントロールの両立が可能な体制を整備しています。

収益獲得だけでなく事業を通じた地球環境への貢献を果たすシリコンウエハーリサイクル事業、バルカーがめざす理想的な事業像のひとつとしてこれからも力を注いでいきます。



熟練された人の目と最新鋭装置により行われる出荷前検査



極限まで磨き上げられたリサイクルウエハー

バルカー・エフエフティの環境・安全への取り組み

環境負荷の低減

エネルギー使用量の少ない設備の導入等で工場全体の省エネ化を進め、より環境にやさしいモノづくりを実現しています。

労働安全性の向上

装置や設備の更新時には、経済性や環境性能とともに安全性を重視した選定を行い、労働災害リスクの低減を図っています。

会社の概況 (2019年3月31日現在)

社 名	株式会社バルカー (英文表記 VALQUA, LTD.)
創 業	昭和2年1月21日
設 立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	10,188名
従業員数	445名 (連結 1,846名)

役 員 (2019年6月20日現在)

取締役

代表取締役会長 C E O	瀧澤 利一
代表取締役社長 C O O	本坊 吉博
取締役 上席専務執行役員 (C C O)	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (C T O 兼 C Q O)	青木 睦郎
取締役 (社外)	関 忠行
取締役 (社外)	三木 緑
取締役 (社外)	関根 近子

監査役

常 勤 監 査 役	林 遙
監査役 (社外)	中根 堅次郎
監査役 (社外)	八戸 孝彦
監査役 (社外)	高橋 秀法

CEO：最高経営責任者
COO：最高執行責任者
CCO：最高コンプライアンス責任者
CTO：最高技術責任者
CQO：最高品質責任者

執行役員

専務執行役員	小田 博志
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	高 昭夫
常務執行役員	森田 信利
常務執行役員	櫻井 慎也
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	立田 寛
執行役員	伏屋 克俊
執行役員	植木 聡
執行役員	瀧澤 利治
執行役員	古澤 実

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL：03-5434-7370 FAX：03-5436-0560
URL：http://www.valqua.co.jp/



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。